

## 令和 5年11月「月報」

### 1 はじめに

関東をはじめ多くの地域で10月に入っても真夏日が続いていたところ、10月9日に北海道の糠平湖（帯広市から北へ50km程）で「けあらし」という現象が観測されたと報じられました。これは、**冷たい空気**が**温かい水面**に流れ込んで湯気のような霧が発生する現象で、とても幻想的な風景とされています……が、水温より気温が低いということは、これからしっかり寒くなるという前触れでもあります。案の定、その日、帯広市は初氷、初霜を観測したとのこと。そして11月、九州から東北南部にかけて夏日の予報がでています。しばらく朝夕と日中の寒暖差の大きい日々が続くでしょう。

そこで気になるインフルエンザ。関東では、臨時休校、学年／学級閉鎖になる学校が多くあり、厚生労働省の発表によると10月17日から22日までの一週間に報告された1医療機関当たりの患者数が全国平均で16.41人。前週の1.5倍に増えた由。

防ぐ手立ては、うがい、手洗い、マスク等、昔ながらの地道なものなのでしょう。

新型コロナ感染症が心配ながらも減少傾向にあり、家族会も含めて、社会全体が以前の活動に近づきつつあるところ、逆戻りしませんように！

### 2 防衛省・自衛隊の活動

- (1) 自衛隊は、インド太平洋地域の平和と安定に向け、関係国等と緊密に連携するため、10月14日（土）から同月10月21日（土）の間、インド及びインドネシアが共催する国際平和協力演習（拡大ASEAN国防相会議（ADMMプラス）人道支援・災害救援演習）に参加しました。本演習は、国際緊急援助活動における多国間調整を机上で、多国間調整所における調整、参加国軍等と連携した航空輸送活動及び医療援助活動を実動で訓練するもので、統幕、陸自、空自（C-130×1を含む。）が参加しました。
- (2) 陸上自衛隊では、北部方面総監を担任官として10月8日（日）～21日（土）の間、米カリフォルニア州ポイントマグ射場で令和5年度地对艦ミサイル部隊実射訓練が実施され、第1特科団が対艦戦闘に係る射撃準備から射撃までの部隊の一連の行動並びに複数連隊からの同一目標に対する同時弾着射撃及び単一発射機からの複数弾射撃により、実戦的な射撃要領を演練しました。
- (3) 海上自衛隊では、9月26日（火）、三菱重工業株式会社長崎造船所において、護衛艦「によど」の命名式・進水式が行われました。護衛艦の名称は、「天象、気象、山岳、河川、地方の名」を付与することが標準とされており、「によど」は募集結果及び各種検討を踏まえ、防衛大臣が決定しました。

「によど」は、愛媛県及び高知県を流れる仁淀川本流から名前をいただいたとのことです。海自では10月17日に川崎重工業株式会社神戸工場で「たいげい」型潜水艦の4番艦「らいげい」の、10月24日にはジャパンマリンユナイテッド株式会社横浜事業所鶴見工場で掃海艦「のうみ」の命名式・進水式が行われました。



「によど」

- (4) 現下のイスラエル・パレスチナ情勢に鑑み、10月18日、外務大臣から防衛大臣に対し、自衛隊法第84条の4に基づく在外邦人等の輸送について依頼があり、防衛大臣の銘を受けて、ヨルダンで待機していた空自 KC-767 が10月20日朝、イスラエルへ移動し、83名の邦人等を輸送しました。

### 3 家族会の活動

#### (1) 新任会長・事務局長研修会

10月5日、東京都新宿区の戸塚区民センターで、令和5年度新任会長・事務局長等研修会を開催しました。研修会には令和4年から5年にかけて新たに就任した県家族会会長、事務局長のうち、新任会長で、事務局長等の時代に研修に参加した経験のある方を除いた14名と、本部・事務局から会長はじめ15名が出席しました。



研修会は、会長の挨拶に始まり、自衛隊家族会の「目的」・「信条」から、「活動の手引き」に沿って自衛隊家族会の業務、その運営、公益社団法人として必要な活動、事務手続き等の他、推進委員会を設置して活動している「おやばと拡販」「家族支援協力」「会勢拡大」「基盤強化施策」について、それぞれの委員

から説明しました。今年の地域協議会で討議・検討をお願いした委託テーマ「家族支援協力」については、6月の定期総会で人事教育局厚生課長から説明をいただいたり、自衛隊の「安否確認アプリ（あんぴくん）導入」もあり、参加者は大きな関心を寄せていました。

昨年7月で、陸海空それぞれの自衛隊との中央協定を締結し、来年度には防衛省としての協定を結ぶべく調整しております。



新任会長（前列）



新任事務局長（前列）

続く意見交換会は、宮下副会長の挨拶に始まり、最も北から参加した山東長野県会長の乾杯、各県会長、事務局長の自己紹介、研修会の所見を交えつつ意見を交換、最後は最も南から参加の前川長崎県会長の一本締めで幕を閉じました。

## (2) 地域協議会

### ア 北関東地域協議会

9月24～25日、群馬県渋川市で、各県会長、副会長、事務局長、女性部長、川又地域担当委員、各地方協力本部長等が出席して、北関東地域協議会を開催し、本部委託テーマの「家族支援態勢の整備について」と、昨今の厳しい募集環境を受けて「募集協力について着意している事項」をテーマに意見を交換しました。



続いて第12偵察戦闘大隊長 神取2佐の「戦略3文書と第12旅団」と題した講話を拝聴し、戦略3文書の、特に陸上自衛隊に関連する記述等に関する認識を深めました。意見交換会には東部方面総監 富樫陸将はじめ高官にご出席いただき、有難うございました。

### イ 南関東地域協議会

9月28～29日、茨城県土浦市で、地域協議会長、各県会長、事務局長、高田地域担当委員、東京地方協力本部長 山下陸将補をはじめ各地方協力本部長等が出席して、南関東地域協議会を開催しました。家族支援協力態勢の整備にかかわる意見交換では、各県ごとに、また各自衛隊ごとに対応や協定の進捗度合いが異なること等、様々な意見が出されました。本部からは、6月に市ヶ谷で行われた募集協力者会場で説明を受けた「あんびくん」の運用にかかわる説明をいたしました。以前、月報でもお知らせしておりますが、



隊員側が入力して初めて機能を発揮するシステムですので、会員の皆様は是非隊員であるご家族に「あんびくん」の入力をお勧めください。その後、武器学校長 星指陸将補から「安全保障環境の現状と防衛態勢の今後」と題した講話をいただき、見識を深めました。

意見交換等ご出席いただいた、富樫東部方面総監、1師団長 兒玉陸将、関東補給処副処長 池田陸将補 他の皆様ありがとうございました。

### ウ 東北地域協議会

10月24～25日、福島県の会津 岳温泉で、各県会長、副会長、事務局長、道満地域担当委員、各県募集相談員連絡



協議会長、県生徒友の会会長、各地方協力本部長、東北方面総監部募集課長等が出席して東北地域協議会を開催しました。会議では、本部委託テーマのほかコロナ禍で大きな影響を受けた部隊とのつながりの再構築や、中止せざるを得なかった事業の再開等を通じて、隊員募集に協力し、また会員募集や退会抑制につなげる意見が交換されました。



意見交換会には、東北方面総監 梶原陸将、第6師団長

楠見陸将はじめ近隣の部隊長にもご出席いただき、翌日の会津若松

市研修を含めて、4年ぶりに対面で実施した地域協議会は成功のうちに終了しました。



## エ 東海・北陸地域協議会

10月24～25日、富山市で、各県会長等、古賀地域担当委員に富山県家族会員約130名を集め、中部方面総監部幕僚副長 堀田陸将補、第10師団副師団長 兵庫陸将補、各地方協力本部長、大湊地方総監部厚生課長、第6航空団監理部長、第14普連副連隊長、富山地本職員が出席して、東海・北陸地域協議会を開催しました。

家族支援協力をテーマにパネルディスカッション形式で行われ、各県会長からの現状や問題点の発表に続き、会場の会員からも多くの率直な



声や自衛隊への要望などが出され、部隊側からは「貴重な意見をいただいた。部隊の中でも議論していきたい」旨の発言も頂戴しました。

続いて、岡部 元陸上幕僚長による防衛講話が行われました。

防衛力の抜本的強化の陰にある様々な問題や活動する隊員の心のケアについて語られ、参加者は国防が自衛隊だけでは成り立たず、国家・国民の問題であることを再認識しました。2日目の、70人の参加会員を7つのグループに分け「魅力的な家族会にするには」をテーマにしたグループワークでは、披露された寸劇を元に各グループで意見を出し合う等の工夫により、参加者が打ち解け、自分の言葉で話が弾み、大変有意義でした。懇親会では女性部を中心に「越中おわら節」を披露し、最後は全員で輪になって踊るほど懇親が深まりました。



オ 四国地域協議会：10月27日 陸自善通寺駐屯地に各県会長、事務局長、小和瀬地域担当委員、四国の各地本長、第14旅団長 大場陸将補等が出席して実施。交流会は隊員クラブで近隣部隊長、各県出身隊員100名と交流(細部は12月「月報」で……)

### (3) 隊員家族の支援に対する協力に関する協定書締結

群馬県自衛隊家族会(釧持省司会長)は、相馬原駐屯地司令 吉浦 1 佐、新町駐屯地司令 二見 1 佐、自衛隊群馬地方協力本部長 小久保事務官、群馬県隊友会 小島会長 の間で、「群馬県隊員家族の支援に対する協力に関する協定」を締結しました。

中央協定で律されているとの認識の下、現在まで地方協定を締結せずにおりましたが、密接に家族支援に協力するには、地方協定が必要との考えから締結に至ったものです。締結に際しては、福岡相馬原駐屯地業務隊長の多大な尽力を頂きました。



### (2) 緊急登庁時の隊員子供の「一時預かり所」を研修(10月4日)

神奈川県自衛隊家族会大和地区会は、海自厚木航空基地で訓練の一環として行われた緊急登庁訓練に際し、基地内に設置される隊員の子供の「一時預かり所」を研修しました。



厚木基地では、子供を持つ隊員が緊急登庁時に際し子供を預ける所に苦慮していることから、大和地区会を含む厚木基地協力6団体が基地支援連絡協議会を設置し、厚木基地が実施する基地に勤務する隊員が緊急登庁する際の就学児童を対象にした基地での預かりを支援する協定を結んでいます。この日は、各団体から20人程度の支援員が集まりました。

## 4 事務局からの連絡

### (1) ボランティア保険料の支払いについて

各県家族会の保険料支払いにつきましては、事務局からの「保険料請求のご案内」が、お手元に届き、確認を頂いた後に10月～12月の間に支払いをお願いします。

### (2) 各種希望数の確認について

下記について要望数をそれぞれの時期までに事務局業務担当の梁池(やなち)へご連絡下さい。

#### ア 入校・入隊者激励会用「おやばと」(無償配布)

入校・入隊者激励会用「おやばと2月号」希望数を11月30日(木)まで

#### イ 北方領土返還要求署名用紙

令和6年度希望数を11月30日(木)まで

**(3) 令和5年度「活動状況等調査」の提出について**

既に家族会本第19号(令和5年4月14日)にて令和5年11月1日(水)を提出期限としてお願いしております。提出の程よろしくお願い致します。

以上